

リーディング(朗読劇)

人を食った話

あらすじ

ある小さな町の検事局。その調べ室で一人の婆っこを尋問している。村の駐在所の巡査を川に投げ込んだという嫌疑である。婆っこは、実はそうであるが動機となると巡査が邪魔だてしたからだ。恨みなんかない。公務執行妨害なんてとんでもない。婆っこに翻弄される検事と書記。チェーホフ原作・下村正夫脚色「結末のない話」を底本にしたファルス(笑劇)。

<出演者>

<作>宮本研(1926~1988) 劇作家

法務省に勤めながら自立劇団「麦の会」を主宰。昭和37年「日本人民共和国」「メカニズム作戦」により岸田国士戯曲賞受賞を受け、劇作に専念。代表作に「明治の棺」「花いちもんめ」など。

<演出>右来左往 劇作家・演出家。愛知県一宮市出身。全国各地で市民劇団の作・演出、ワークショップ指導。俳優館に作品提供・演出等も関わる。近年は名古屋に拠点を移し、オペラの構成、演出等幅広く活動中。日本劇作家協会新人戯曲コンクール大賞、京都芸術新人賞など受賞多数。

書記

早川けい



書記 伊賀太平

検事

高橋浩時

(GEKIDAN YATA)



検事 細井杖太郎

婆っこ

いのこ福代

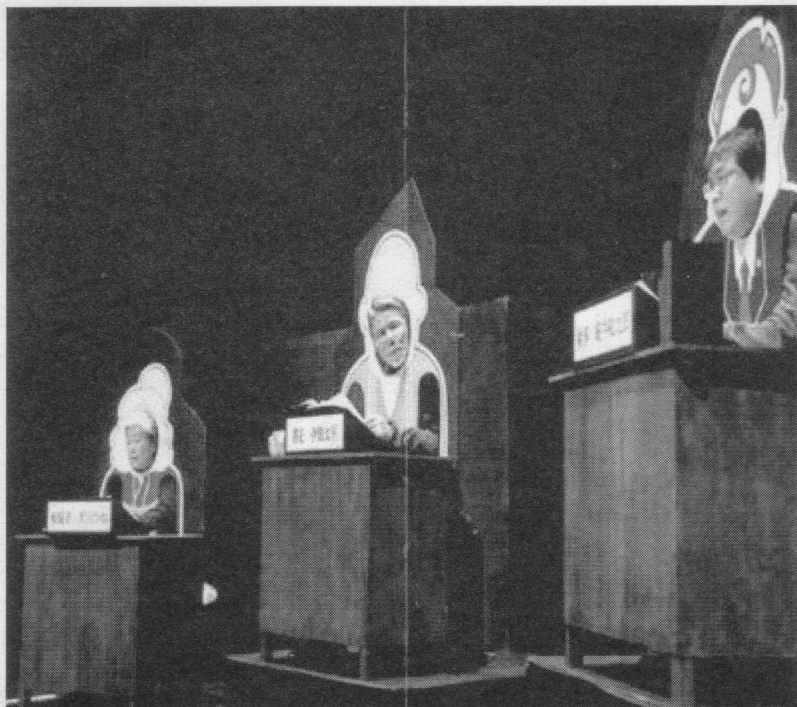


被疑者 若田かね

ト書き

長浦恵

(俳優館)



婆っこを演じる「いのこ福代」さんは、昨年の舞台での演技が評価されて、東海3県の優れた演劇人をたたえる第18回松原英治、若尾正也記念演劇賞を受賞されました。今回鑑賞するリーディング(朗読劇)「人を喰った話」での演技も含まれているそうですヨ!